

# 道東ブロックトレセンU-11in根室 報告書

期日 平成 23 年 6 月 4 日

会場 中標津町運動公園球技場

## 1. 参加選手 (16 名)

嶋 耕太郎 (釧路南) 笠原 龍斗、風呂谷 晃平(コンバット) 大平 樹人、小野寺 辰貴(R シュペルブ)

今野 祥太郎 (昭和) 伊藤 大貴、佐藤 雄大、田畑 翔希 (城・清・武) 小林 陸功 (朝陽)

麻里 友哉、菅原 瞬(遠矢)川内 大輝、菅原 国照、日向 拓海 (ドリーム)

※夏季トレセン選手 23 名から 16 名を選抜 (福島 龍乃介・厚岸はケガのため不出場)

## 2. スタッフ

中瀬満、後藤雅宏、高橋雄一 (U-12 と併催)

## 3. はじめに

5 月の BTCin 帯広遠征からは大幅に選手を入れ替えて今回の遠征に臨んだが、コンセプトは変えずにしっかりパスをつながく・状況をよく観て判断することを選手に要求した。また練習日程の関係でトレーニング回数は多くなかったが、試合の中で失敗を恐れず課題にチャレンジすることも求めた。

## 4. 対戦結果

○	4	—	1	VS	根 室
●	1	—	2	VS	網 走 A
○	7	—	2	VS	網 走 B
●	3	—	4	VS	網 走 A

### Vs 根 室

得点者 風呂谷、小林、佐藤、田畑

		小林 (今野)		
笠原	風呂谷 (田畑)		太平 (日向)	
麻里 (嶋)	小野寺 (佐藤)		川内 (菅原)	
	伊藤 (菅原)			

### vs 網 走 A(1 試合目)

得点者 小野寺

		菅原 (麻里)		
嶋 (今野)	風呂谷 (小野寺)		田畑 (日向)	
笠原 (太平)	小野寺 (佐藤)		小林 (川内)	
	伊藤 (菅原)			

### vs 網 走 B

得点者 今野、風呂谷、菅原瞬、小野寺、田畑 2、日向

		今野 (田畑)		
菅原 (今野)	小野寺 (菅原)		日向 (太平)	
川内 (嶋)	風呂谷 (麻里)		佐藤 (小林)	
	菅原 (伊藤)			

### vs 網 走 A(2 試合目)

得点者 田畑、小野寺、風呂谷

		小野寺 (小林)		
日向 (田畑)	風呂谷 (麻里)		田畑 (太平)	
菅原 (嶋)	佐藤		川内 (今野)	
	菅原 (伊藤)			

## 5, 成果と課題

### <成果>

#### ○ポゼッション

⇒メンバーが変わってもパスをつないで攻撃を組み立てていこうという意識が見られた。今後はより精度を高めていきたい。

#### ○フィニッシュ

⇒ゴール前のチャンスを決めきるプレーに一定の成果が見られた。特に相手を崩した状態からミドルシュートで多くの得点を取りことができた。

#### ○ボールを奪う

⇒パスコースを予測してインターセプトを狙ってボールを奪うことが多くできた。

### <課題>

#### ●パスの質

⇒狙いを持ってパスを出す選手が少ない。また、インサイドキックで強いパスが出せないため相手にカットされる場面が目についた。質の高いパスをトレーニングで日常的に求めていく必要性を感じた。

#### ●守備

⇒トレセンの中ではまだ守備に関するトレーニングを行っていないため、ある程度仕方ない面もあるが、特にポジショニングの悪さから失点することが多かった。今後は基本となる相手とボールの両方を観る意識など時間をかけて守備面のトレーニングを行っていく。

#### ●ドリブル

⇒相手にボールを奪われないためのボールの置きどころに課題があったが、それ以上に無謀にドリブルでしかけてボールを失うことが多かった。このメンバーにおける最重要課題といえる。

#### ●プレーの優先順位

⇒特にボールを持った時の判断に課題があった。よりゴールを意識しながらシュート or パス or ドリブルの判断の精度を高めていきたい。

## 6, まとめ

今回の遠征では、プレーの質をもっと高めなければトレセンの試合では通用しないということがより確認ができた試合となった。特に、課題でも触れたが周りの状況を判断せずに無謀に仕掛けるドリブルが多かった。市内の試合では無謀に仕掛けても2人3人とドリブル突破できる技術を持った選手も、多くボールを失っていた。もちろんドリブルが悪いプレーではないが、状況を観てプレーを判断をしなければ上のレベルでは通用しない。トレーニングの中で多くの選択肢を持ちながら常に判断することを求めていきたい。

我々トレセンスタッフは釧路の一番ではなく、一人でも多くの選手が北海道トレセンに選出されるよう各チームの指導者のみなさんと共に取り組んでいきたいと考えております。今年度から月1回開催のBTCとなり、父母の負担、所属チームへの負担などの面もありますが選手の成長を考えると非常に効果的であり、プレイヤーズ・ファーストの観点からご理解をお願いします。

最後に本大会に参加するにあたり、多大なるご協力をいただいた各チーム関係者の皆様、保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともトレセン活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。